

## クラブ会長・クラブ幹事殿

クラブ会長クラブ幹事殿におかれましては、年度の3分の2を終えられて随分と落ち着いた日々をお過ごしと存じます。いよいよ次年度への助走のための支援に力を入れられていると存じます。

さて、4月3日はIM8組堺13RCならびにIM5組の有志の方々のご協力で百舌鳥古市古墳群の一斉清掃とスタンプラリーを行います。その後は全地区内のクラブ皆様に呼びかけを行って、大仙公園内の日本庭園で国際ロータリー第2640地区花見大会を開催いたします。ご家族皆様もお誘いあわせの上是非ともご参加下さい。

昨年末にお願いしたアンケート結果をガバナー事務所にて纏めました。公開する機会を設けるように企画していますので今少しお待ち下さい。ご協力頂きました皆様に心より御礼申し上げます。2月24日から地区WCS視察のためにフィリピン・セブ島へ地区内ロータリアン60名とともに行って参りました。感動の連続の現地視察であったことをご報告申し上げます。地区WCS委員会からの報告がホームページにアップされますので是非ともご覧ください。

さてRIでは6月30日をもってWCSが廃止されます。下記の通知をご参考までに添付しておきます。

国際ロータリー第2640地区  
ガバナー 米田真理子

2011年3月1日



この度、世界社会奉仕(WCS)とロータリー・ボランティア・プログラムについて、RI理事会が下した決定についてお知らせ申し上げます。2010年11月の会合において、RI理事会は、2011年6月30日をもって、これらのプログラムを漸次廃止することに合意しました。この決定は、改定されたRI長期計画の優先項目、ならびに「プログラムを基本としたモデルからリソースとサポートのモデルへ」のRIプログラム運営の全般的転換の必要性を反映したものです。この新モデルは、クラブ同士の関係や協力を助長することによって、多大な成果をもたらす国際奉仕プロジェクトの数や範囲を広げることを目指しています。

世界社会奉仕(WCS)プログラムは、その開始以来、ロータリアンが国際奉仕プロジェクトの協力者探しを行う上で、役立てられてきました。しかし、そのプログラムの名称から、ロータリー財団の人道的補助金プログラムと混同されるケースが目立っていました。WCSプログラムは、今ロータリー年度末に廃止となりますが、今後もRIは、ロータリアンによる国際奉仕プロジェクトを全面的に支援してまいります。

ロータリー・ボランティア・プログラムの廃止については、理事会は、ボランティア活動の重要性を認識する反面、比較的少人数のロータリアンのために多大なリソースを投入することの価値を疑問視していたことがその理由として挙げられます。これに加え、ロータリー・クラブと地区にボランティア活動に関する指針とリソースを提供し、地元と海外での奉仕プロジェクトにおけるボランティア活動の機会を模索するよう奨励することへと、重点が移行したこともその一因です。

利用可能なリソースについてクラブに伝え、奉仕プロジェクトの立案においてクラブを支援するという地区委員長の重要な役割を果たされている皆さまのご尽力に、心より御礼申し上げます。今回の変更についてロータリー世界全体に伝えていくにあたり、皆さまにご協力いただくことが特に重要となります。プログラム廃止の準備を進める中で、追加情報や詳細について皆さまにも定期的にお伝えしてまいります。

今後は、現ロータリー友情交換プログラムを拡張することによって、国際奉仕プロジェクト、親睦訪問、国際ボランティアの機会など、ロータリー奉仕のつながりを支援するためのリソースの拡充が行われ、これから数カ月間はこの点に力が注がれることとなります。2011-12年度に地区での指導的役割に任命されている皆さまには、今後の進展を逐次お知らせいたします。

今後も、クラブの人道的奉仕活動の指針と支援を提供してまいります。今回の変更についてご不明な点などありましたら、担当職員(International.Service@rotary.org)までご遠慮なくお問い合わせください。

よろしく願いいたします。

RI事務総長  
エド・フタ(布田)